

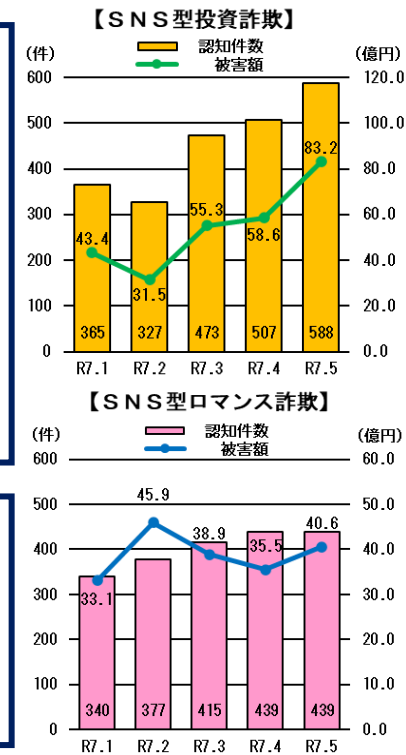
## 概要

### SNS型投資詐欺の認知件数・被害額は3か月連続で増加

- 「当初接触ツール」は、「Instagram」が最多、「LINE」が2番目に多い
- 「当初接触手段」は、「ダイレクトメッセージ」が最多、「バナー等広告」が2番目に多く割合が増加
- 被疑者の詐称身分は、「投資家」が最多、金銭等の要求名目は、「株投資」が最多

### SNS型ロマンス詐欺の被害額が増加

- 「当初接触ツール」は、「マッチングアプリ」が最多、「Instagram」が2番目に多い
- 「当初接触手段」は、「ダイレクトメッセージ」が最多
- 被疑者の詐称身分は、「投資家」が最多、金銭等の要求名目は、「暗号資産投資」が最多



## 事例

被害者は、Instagramのダイレクトメッセージを通じて投資業をしている男性をかたる者と知り合い、SNSで交信を重ねて相手に恋愛感情を抱くようになったが、相手から裸の画像が送信されたことから、相手の要求に応じ、自身の裸の画像を送信した。その後、相手から先物取引を勧められ、指定口座に5万円を振り込んだところ、翌日、自身の口座に利益分7万円の入金があったことから、取引を本物と信じ、先物取引サイトに登録したが、その後の損失をおそれて取引を断ると、相手から「やらないとあなたの裸の画像をCD-Rで自宅に送りつける」旨脅され、サイトからは「利益を受け取るためには保有資産の税額分を振り込む必要がある」などと言われ、合計約35万円を口座に振り込み、だまし取られた。

## 注意点

### 【SNS型投資詐欺】

- 犯人は、投資用アプリ等の画面上で、利益が上がっているように見せかけたり、当初は少額の利益の払い戻しに応じたりするなどして信用させることで、更に現金を要求してきます。例えば払い戻しが得られたとしても、繰り返し投資を求められた場合は、詐欺の可能性があります。

### 【SNS型ロマンス詐欺】

- ロマンス詐欺の犯人は、恋愛感情や親近感につけ込みます。一度も会ったことのない人から、お金の話をされた場合は、詐欺の可能性があります。
- SNS等で知り合った相手に性的な画像を送信した場合、悪用される可能性があります。

### 【共通】

- ダイレクトメッセージが届き、知り合った相手でも、一度も会ったことがない人から、暗号資産や株への投資等のもうけ話は、詐欺の可能性があります。
- 「投資家」を名乗る者からの都合の良いもうけ話は、詐欺の可能性があります。

## だまされないための対策

- SNS等で知り合った相手に性的な画像を送信した場合、悪用される可能性がありますので、相手から要求されてもきっぱりと断りましょう。
- SNSやマッチングアプリ等を通じて親密に連絡を取り合っていたとしても、一度も会ったことのない人から暗号資産等への投資を求められた場合は、詐欺を疑い、すぐに警察相談専用電話(＃9110)に御相談ください。
- 暗号資産交換業者を利用する際は、金融庁・財務局に登録された事業者であるかを金融庁・財務局のホームページで確認してください。
- マッチングアプリ上で知り合った後、早い段階でLINEに誘導された場合は詐欺を疑ってください。
- このほか、事業者が提供する防犯情報を確認することも有効です。